News Release

2026 年 11 月 18 日
ピジョン株式会社

育児と仕事の両立を支えるカギは、職場での「対話」にあり！
異業種 8 社の育児中社員が「子育てエンゲージメントカード」を通じて価値観や悩みを共有
～導入を検討する企業の人事担当者も再発見した、育児と仕事の両立における”リアル“～

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：矢野 亮、以下：当社）は、自分の子育てに対する価値観と向き合い、家庭や職場で育児と仕事の両立について頼れる仲間を見つける“はじめの一歩”をアシストする対話型ワークショップカード「子育てエンゲージメントカード」を株式会社トリプルバリューと共同開発し、2026 年 8 月 24 日（月）より発売しています。

2026 年 10 月 19 日（月）に「子育てエンゲージメントカード 企業版パッケージ」導入検討企業トライアル会を開催し、8 社 15 名の育児中社員がカードワークを体験しました。当日は、カードを活用して自身が子育てで大切にしたい価値観を見つめ直すワークショップに加え、スリール株式会社代表取締役社長・堀江敦子氏による基調講演や、参加企業の育児中社員によるパネルディスカッションを実施。仕事と育児の両立におけるリアルな悩みや、職場でのコミュニケーションの重要性について考える機会となりました。本リリースでは、当日の様子を事後レポートとしてお届けします。





■男性育休取得率は上がっても、仕事と育児の両立はなお不安が残る育児者。孤立を防ぐには、自身そして周囲の納得をもたらす「対話」の雰囲気づくりが重要。

共働き世帯の割合が 8 割を超え、男性の育休取得率も向上している 2026 年現在。しかしながら仕事と育児の両立に不安を抱える人は男女合わせて 72.2%※1に上っています。こうした背景を受けて当社は職場内のコミュニケーションや対話を通じた両立支援を目指し、本会にて育児当事者の方々に「子育てエンゲージメントカード」をトライアルいただきました。さらに堀江氏を交えたパネルディスカッションでは、復職後の時間管理や育休取得の心理的ハードル、ロールモデルの考え方など、両立にまつわるリアルな悩みを語り合っていただき、まさに“対話”の重要性が表現された時間となりました。参加者からは「忙しい毎日の中でなかなか意識することのない自分自身の価値観を再認識・内省する機会となった」「カードを通じて考えを率直にアウトプットができたことで、非常にすっきりとした気持ちになれた」「他の方と自身の苦悩を分かち合うことで心が軽くなった」などのコメントが寄せられました。

※1：厚生労働省「令和 7 年度 若年層における仕事と育児の両立に関する意識調査」（2025 年）

一般の方からの購入に関する問い合わせ先 ：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先 ：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com

なお本会には、参加各社の育児中の社員が中心となって参加した一方で、人事担当者も自社社員の反応をそばで見学することでこのカードを自社で導入するか否かの判断材料を収集する目的で参加。人事担当者にとっては、制度の整備に加え、社員が価値観や悩みを安心して話せる職場をつくり、対話を通じて仕事と育児の両立を支えることの重要性を考える機会となりました。

■子育てで大切にしたい価値観を言語化！
カードを通じて互いの考え方への理解を深めるワークショップ





当日のカードワークショップでは、8社15名の育児中社員が、「自分が子育てで大切にしたい価値観」をテーマにカードを選び、自身の考え方を見つめ直しました。

参加者は、カードを選ぶ過程で自身の考え方と向き合いながら、選んだ理由や子育てに対する思いを共有しました。カードを通じて、普段は言葉にする機会の少ない子育てへの価値観を言語化し、互いの考え方に触れる時間となりました。

＜参加者の声＞

- 「家庭だけではなく、仕事だけでもなく、いずれもよいバランスで、自分の価値観を大切にできるように過ごしたいと前向きな気持ちになることができた。」
- 「出産後は自分よりも子ども中心な考えになりがちだったが、改めて自分を見つめ直すきっかけとなった」
- 「ぜひ妻とも一緒に取り組んでみたい。」
- 「積極的に育児や自分の考え方をアウトプットしてこなかったなか、カードを通じて率直なアウトプットができて非常にすっきりとした気持ちになれた。それぞれ全く違うカードを手に取っていたのも印象的だった。」
- 「初対面の方が今どのようなことで悩まれていて何を大事にしたいのかを可視化するのに効果的だと感じた。」

※1：厚生労働省「令和７年度 若年層における仕事と育児の両立に関する意識調査」（2025年）

一般の方からの購入に関する問い合わせ先 ：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先 ：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com

■ 育児中社員が語る、仕事と子育てのリアルな葛藤。制度だけでなく「対話」が支える両立のあり方とは



Gallup Japan 株式会社、スマートニュース株式会社、株式会社西武ホールディングス、日本生命保険相互会社の育児中社員が登壇し、パネルディスカッションを実施。育児と仕事を両立するなかで感じる悩みや、育休制度を利用する際の心理的なハードル、参考にしているロールモデルなどについて、実体験をもとに意見を交わしました。登壇者からは、制度が整備されていても、周囲に負担をかけることの申し訳なさやキャリアに対する葛藤を抱えることがあるという声が上がりました。これに対して堀江氏は、日頃のコミュニケーションや、周囲と協力できる職場環境が両立を支える重要な要素であると語りました。

●復職後のタイムマネジメントや周囲に負担をかけることの申し訳なさ。育児と仕事の両立に伴う葛藤

育児と仕事の両立における悩みについて、登壇した育児者のひとりは、育児休業からの復職後、時短勤務のなかで業務を進める難しさや、周囲に負担をかけてしまうことへの葛藤があったと振り返りました。限られた時間のなかで業務を進めるために、自分ができることと周囲にサポートしてほしいことを明確にし、上司や同僚と共有することを意識していると説明しました。また、柔軟な働き方ができる環境であっても、仕事と育児のオン・オフの切り替えに悩むという声も上がり、クライアントや周囲に迷惑をかけたくないという思いから、仕事と家庭の時間を明確に区切ることが難しくなることがあると語られました。

こうした悩みに対して堀江氏は、仕事とプライベートの切り替えを意識的に行うことの重要性を指摘。自身も会議を行う時間に区切りを設けることで、周囲も含めて仕事を終えるタイミングを共有していると紹介しました。

●育休制度があっても利用しづらい？制度を「当たり前」にする職場風土の重要性

育児休業制度を利用する際の心理的なハードルについては、企業によって異なる経験が語られました。

登壇した育児者のひとりからは、柔軟な働き方が認められている環境であっても、成果を出さなければならないというプレッシャーや、チームのメンバーに負担をかけてしまうことへの懸念があると説明しました。一方で別の育児者からは、社内に育休取得の事例も多く制度を利用することが当たり前になっているため取得に際して大きな心理的ハードルは特に感じなかったという声も挙がりました。

堀江氏は、育児制度利用者の前例が増えていくことで、後に続く社員も利用しやすくなると説明。そして、前例のない職場で育児制度の利用を促すためには、本人だけに負担を負わせるのではなく、チーム全体で話し合い、納得したうえで支え合うことが重要だと述べました。

制度の整備だけでなく、社員が安心して制度を活用できる職場風土を醸成することの重要性が浮き彫りとなりました。

●完璧なロールモデルを探さない。「パーツモデル」という新たな考え方

育児と仕事を両立するうえで参考にしているロールモデルについても、意見が交わされました。
登壇した育児者のひとりは、一人の人物を理想のロールモデルとして設定するのではなく、キャリアについて相談する人、子育てについて相談する人など、目的に応じて複数の人を部分的に参考にしていると紹介しました。

これに対して堀江氏は、自分と全く同じ環境や価値観を持つ人を見つけることは難しいため、完璧な一人のロ

一般の方からの購入に関する問い合わせ先 ：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先 ：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com

ールモデルを探す必要はないと説明。さまざまな人のキャリア観や育児観、時間の使い方など、参考にしたい部分を取り入れる「パーツモデル」という考え方を紹介しました。一人の理想像に自分を当てはめるのではなく、複数の人から参考情報を取り入れつつ、自分に合った働き方や子育てのあり方を見つけ出していくことが重要であると語りました。

こうした議論を通じて、育児と仕事の両立には、制度の充実だけでなく、一人ひとりが自身の子育ての価値観や悩みを言葉にして周囲と共有することも有意義であることが改めて示されました。

「子育てエンゲージメントカード」は、その第一歩として、自分自身が大切にしたい子育ての価値観を整理して上司や同僚、家族、地域なども含めた周囲との対話を生み出すきっかけとなることを目指しています。

■育児と仕事の両立を、制度だけでなく「心」の面から支える。ピジョンがカードに込めた想い





当社代表取締役社長の矢野は、当社の存在意義にある「赤ちゃんにやさしい場所」の実現に向けた取り組みを紹介。当社では、男性育休取得率 100%を 2007 年から継続するなど、育児と仕事の両立支援に向けた制度整備を進める一方、制度だけでは解消できない両立への不安があることを説明しました。

こうした課題を背景に、社内提案制度「Pigeon Frontier Awards（PFA）」から生まれたのが「子育てエンゲージメントカード」。矢野は、家庭で自身もカードワークを体験した際、互いの価値観の違いに気づいたエピソードを紹介し、家庭や職場で価値観を共有し、対話を深めることの重要性を伝えました。

続いて、子育てエンゲージメントカード制作委員会リーダーの渡辺が、商品の開発背景やカードに込めた思いを紹介しました。渡辺は、人事担当者として育児中の社員と接するなかで、制度が充実していても、キャリアや子育てに葛藤を抱える人が多いことを実感。そこで、社員の心を支え、周囲との対話を促すツールとして、育児中社員 139 名から集めた 264 の言葉をもとに、88 の価値観をカードに込めました。

また、育休を周囲との関係性を深める「チームビルディングの機会」として捉え、カードを通じて自身の価値観を共有し、家庭や職場での対話につなげることの重要性を強調しました。

一般の方からの購入に関する問い合わせ先 ：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先 ：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com

■育児と仕事の両立に悩む人は約 6 割！
有識者が語る、制度整備だけでは解消できない「両立不安」



堀江氏は、同社が 2025 年に実施した令和版「両立不安®白書 2025」の結果を紹介。仕事と子育ての両立に不安を感じている人は、男女合わせて約 6 割に上り、男性でも半数以上が不安を抱えていることを説明しました。

さらに、調査では「管理職や専門職を目指すなどキャリアに対する意欲が高い人ほど、両立不安を強く感じる傾向があることが明らかになった」と紹介。育児と仕事の両立への不安が、退職や転職を考えるきっかけにもなっていることを指摘しました。

また、企業のダイバーシティ推進について、多様な人材が集まるだけでは十分ではなく、異なる価値観を安心して共有できる「心理的安全性」のある職場環境が重要であると説明しました。

そのうえで、子どもの成長段階によって必要なサポートは変化するため、育児と仕事の両立を個人だけの課題として捉えるのではなく、パートナーや職場、外部のサポーターなどを巻き込んだ「チーム戦」として考える必要があると強調しました。

＜登壇者＞

スリール株式会社 代表取締役社長 堀江 敦子（ほりえ あつこ）



スリール株式会社 代表取締役。立教大学大学院経営学研究科（博士前期課程/リーダーシップ開発コース）修了。ISO30414 リードコンサルタント／アセッサー、千葉大学教育学部非常勤講師。企業向けに女性活躍・ダイバーシティ推進の研修・コンサルティングを実施。推進体制づくりや DEI ポリシーの作成支援、女性管理職パイプライン構築に向けた各階層や管理職向けの研修などを提供している。内閣府男女共同参画局専門委員として第5次男女共同参画基本計画の策定に関わり、現在はこども家庭庁の有識者委員を務める等、行政委員を多数経験。行政・大学向けに実施しているライフキャリア教育事業（仕事と子育ての両立体験／ワーク＆ライフ・インターン）では、第 5 回経済産業省 キャリア教育アワードを受賞。著書に『新・ワーママ入門』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、『女性活躍から始める人的資本経営　多様性を活かす組織マネジメント』（JMAM）がある。共働き世帯が本格増加の兆しを見せた 2017 年から「両立不安」を提唱、2025 年には令和版「両立不安®白書 2025」をリリースした。

一般の方からの購入に関する問い合わせ先 ：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先 ：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com

■商品概要



子育てエンゲージメントカードの中身（一部）



導入ガイド動画の一部

商品名	子育てエンゲージメントカード
購入後、お問い合わせいただいた企業限定（企業版パッケージ）	ピジョンの両立支援事例ナレッジ集、ワークショップ実施ガイド、カードワーク体験後の振り返りシートの配布 ※企業数限定で、ワークショップ支援を当社がおこないます
税込価格	4,400 円
発売日	2026 年 8 月 24 日（月）
販売先	株式会社トリプルバリューオンラインショップ
製造国	日本
オンラインショップ URL	https://engagement.thebase.in/items/154639805
共同開発	株式会社トリプルバリュー

上記に含まれる導入ガイド動画では、「子育てエンゲージメントカード」の開発背景や「チーム育児」の考え方に加えて、カードの活用方法や社内ワークショップの進め方を分かりやすく解説しています。初めて導入される企業でも、育児者同士や上司・同僚との対話を促進するワークショップを円滑に実施していただけます。

導入ガイド動画：https://www.youtube.com/watch?v=5CIlI9irCas

■子育てエンゲージメントカードについて：

「子育てエンゲージメントカード」は、カード選びを通じて自分自身の子育ての価値観を整理できるだけでなく、パートナーや家族、職場との対話を生むことで、お互いの考え方への理解を深めることができます。当社は、育児は親が個人で抱え込むものではなく、パートナーや家族、地域、そして職場も含めた「チーム」で支え合うものだと考えています。本カードを通じて、一人ひとりが自分らしい子育てを実現するとともに、育児者の自己効力感を高め、安心して育児と仕事を両立できる環境づくりに貢献してまいります。

https://www.pigeon.co.jp/vision-of-a-baby-friendly-future/parenting-card/

なお、ピジョンでは本製品に関する LP サイトを公開しています。カードの特長や活用方法、企業向けサポート内容に加え、本日よりカードワークを体験した方の声もご紹介しています。ぜひご覧ください。

【共同開発：株式会社トリプルバリュー会社概要】

一般の方からの購入に関する問い合わせ先 ：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先 ：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com

会社名：株式会社トリプルバリュー
設立：2018 年 4 月 18 日
本社：大阪府大阪市淀川区西中島 6-3-32
　　第 2 新大阪ビル 7F
沖縄事務所：沖縄県那覇市久茂地 1-1-1 パレットくもじ 9F
代表者：代表取締役　山本龍太
コーポレートサイト：https://www.triplevalue.jp/

ピジョンブランドは、育児用品をはじめ、マタニティ用品・保育サービスなどを手掛けるブランドです。
60 年以上に亘る研究に基づき、製品やサービスを提供することによって、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にしたいと考えています。
そして、赤ちゃんが生まれながらに持つ素晴らしい力を育み、すべての赤ちゃんがありのままに輝ける世界の創造を目指していきます。
赤ちゃんにやさしい未来に向けた世界中に広がる私たちの取り組みを下記でご紹介しています。

https://www.pigeon.co.jp/vision-of-a-baby-friendly-future/

一般の方からの購入に関する問い合わせ先：（株）トリプルバリュー　Email：info@triplevalue.jp
企業の方からの問い合わせ先：ピジョン（株）子育てエンゲージメントカード制作委員会　Email：kosodate-card@pigeon.com